

# 非核の政府を求める大阪の会 結成 30 周年の つどい

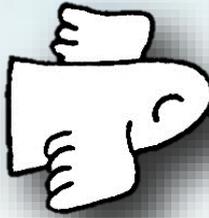


第2部



## 非核大阪の会 30 年の あゆみとこれから

第1部



★記念講演

### 「ビキニ事件は 終わってない」

～元被災船員と遺族の  
救済を求めて～

★講 師  
山下 正寿さん

(太平洋核被災  
支援センター事務局長)



大阪におけるビキニ  
水爆事件をいっしょ  
に考えてみませんか



(1986.10.7 結成総会)

★日時 2016年11月12日(土)

午後1時半～4時半頃 1時開場

★場所 たかつガーデン

(大阪府教育会館) 8階 たかつ東中  
大阪市天王寺区東高津町7番11号  
TEL 06-6768-3911

近鉄【大阪上本町駅】から 徒歩 約3分、  
地下鉄【谷町九丁目駅】から徒歩約7分

⑪番出口から

～記録集と映像で振り  
返り、これからの展望を  
語る～

結成から30年が経ち、「非核の会」って、  
どんな会？  
どんな活動をしている？  
原水協となにが違うの？  
など、さまざまな声が・・・  
そこで、会の30年を振り返りながら今後の展望を語るつどいを企画しました。

当会の趣旨に御賛同いただける方ならどなたでもご参加いただけます。

入場は無料です。

私たちは「非核5項目」の実現をめざします

- 1 全人類共通の緊急課題として核戦争防止・核兵器廃絶の実現を求める
- 2 国是とされる非核3原則を厳守する
- 3 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
- 4 国家補償による被爆者援護法を制定する
- 5 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

非核の政府を求める大阪の会

〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4-210  
TEL : 06-6765-3032 FAX : 06-6765-3033  
E-mail : hikaku-osaka1986@nifty.com

# ビキニ事件は 終わってない

～元被災船員と遺族の救済を求めて～

大阪におけるビキニ水爆事件を  
いっしょに考えてみませんか

記念講演

山下 正寿さん(太平洋核被災  
支援センター事務局長)

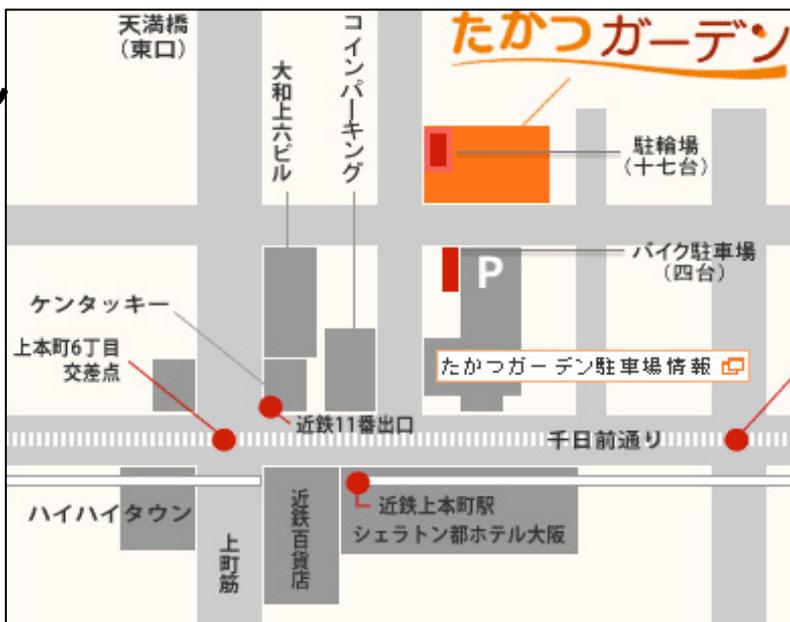
日時

2016年11月12日(土)午後1時半～4時半頃 1時開場

場所

たかつガーデン  
(大阪府教育会館)  
8階 たかつ東中

大阪市天王寺区  
東高津町7番11号  
TEL 06-6768-3911  
近鉄【大阪上本町駅】  
から徒歩約3分、  
地下鉄【谷町9丁目駅】  
から徒歩約7分  
11番出口



山下正寿さんはこんな人  
高知県宿毛市生まれ。高等学校教諭を務めていた1985年から、アメリカ合衆国が1946年-1958年にビキニ環礁やエニウェトク環礁で計67回行った一連の核実験で被災したとみられる県内の船員への聞き取り調査を、高校生たちとともに始めた。研究者らと協力して、アメリカ合衆国の公文書の分析や厚生労働省への情報公開請求に取り組み、被災の実態を明らかにしてきた。2011年の東京電力福島第一原子力発電所事故後、福島県における被害の調査にも携わる。市民団体「太平洋核被災支援センター」事務局長を務める。2016年5月9日、ビキニ被爆被災者の救済を求める国家賠償請求訴訟を高知地裁に起こす。